

墓場尻川 2015/05/31

メンバー：落合（CL）、大曾根（SL）、飯野、細野、小濱

天候：曇りのち晴れ

いずみ橋 7:20 三俣 10:00 林道 12:20（遡行終了） いずみ橋 14:50

強烈な名前とは裏腹に癒し系の美渓と評判の墓場尻川、昨年の秋シーズンのみで遡行しようと思っていたが、雨で計画が流れてしまっていたので早速シーズン序盤でリマインド。

碓氷峠周辺は山登りの対象としてはなかなか縁の無い山域だったが、周囲の山々の雰囲気とは一味違い噂通りの素晴らしいナメナメ・ワールドでした。

今回は左俣を遡行、時間があれば中俣を下降する予定だったが旧中山道の歴史に思いを馳せながら登山道を下り基点に戻った。

ヒルが出ると噂に聞いていたが、被害者は1名。（靴に貼りついていただけで吸血はない）

沢中ではネズミの平泳ぎが見れるという珍事もあり、皆オコジョを発見したかのように興奮していた。



お約束のヒトマタギ（左上）、滝行日和の雄滝（右下）



沢登り独自の登り方を踏まえ詳細な記述は避けるが、登れる滝や高巻き・遡下降の選択肢も多く機会があれば錦秋の頃にまた来たいと思わせる内容の沢でした。

下降路は最後尾根沿い（一般路ではない）を読図しながら下降したが、途中から登り返しやヤブで不明瞭になり結局沢を下降して基点に戻った。

旧中山道から下降した尾根は慣れない人は懸垂下降で降りた方がよさそうな斜面があったが、沢は水量もほとんどなく滝らしい滝も無いので下降には特に問題無い、湿度も低く爽やかな陽気に包まれ最高の沢日和となった。

帰りは2週連続で群馬のソウルフード・登利平（富岡市）に縦走、西上州からのクラシック・ルートになりつつある。鳥めし&唐揚げは鉄板です。

（記録：落合）